

## 保護者事前研修会アンケート集計《設問1 - 4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
見守ることの大切さを改めて感じました。 「あなたを経て来たが、あなたから来たのではない...」 どうしても、私のもののようにしてしまいがちなので考えていきたいと思います。
ビデオを見せてもらって、とても感動する内容でした。日々の自分を反省するような内容でした。
「心配」を「信頼」に変えて、ぐっと我慢で見守ることの大切さを改めて感じました。
みなさん、挨拶がしっかり出来ていて引き締まるような気持ちになりました。
自分自身がかかり過保護なのではと感じました。日々の忙しさから自分でした方が早いとか、つい、子どものすべき事まで片付けてしまっていることに気がきました。子どもをもっと信頼して任せていけないと感じました。
私自身、昨年もこのセミナーを受講し、頭では理解できていても日々の生活においては過干渉であったり、過保護になっていると思います。子どもは5年生になりかなり自我がでてきました。これからは、子離れをしなければいけないと改めて感じました。
ディスカッションでも言われていましたが、少し口を出しすぎかな？と思いました。時間がない、弟たちの示しがつかないと言うこともあります。少し言い方、やり方を考えなくてはいけないと思いました。この「おの100」でいるんな意味での「生きる力」を身につけてほしいと思いました。
優しく、厳しく、見守るというのを感じました。
セミナーの内容や他の保護者の話を聞いて、自分の子どもに欠けていること、親自身に足りないこと、また過ぎていくことなどを見つめ直すことができ、貴重な時間にする事が出来たと思います。
子どもが困難にぶつかった時は子ども辛い親も辛い。何でも先回りして困難を取り除いてやることは、子どもの大事な経験である「失敗したから気付き成長すること」を奪っていると思いました。気をつけたい。
「5つの過」は、まさに私に当てはまる所があり反省しました。困らないように、失敗しないように...と言ったり、先に口を出すことが本当に子どものためにはならない。信じて見守る大切さを学びました。
子どもだけでなく、人と人の距離感が難しいと感じている私にとって「てんびんの詩」はとても良かったです。以前にも見ていましたが、3年間の間がかるとまた新鮮な気持ちで見せていただきました。
親がしっかりとリードしながら子どもの成長を見守ることの大切さを教えて頂きました。我が子のやろうとする事について横から口を出してしまう私...。子どもを信じて、見守り、待つ子育てを是非していきたいと思いました。(昨年も同じことを思った...と思い出し、親が成長しないと...と改めて感じました。)凛とした姿を子どもに見せれるといいなと思いました。
日頃、子どもに対しての接し方で口出し・手出しをし過ぎていてと反省しました。子どもを信じて、待つことの大切さがたいへん大切だと思いました。
知らない保護者の方と交流することができ良かったです。「おの100」に子どもが参加することになり、知らなかった「おの100」に出会えて嬉しく思っています。
あんまりピンとこなかった。
毎回思うのですが、「私がまず変わらなければ...!!」の思いを新たにしました。毎年1回、自分自身を見直すとてもいい機会を有り難うございます。
グループディスカッションの時間がもっと必要。他の人の意見をもっと聞いてみたい。あらかじめグループを決めていたら?
昨年参加して、親としてまだまだ未熟な部分が多い...と反省して1年経ったのですが、ここに来るとまた新しく考えさせられることや、忘れていたことを見つけられます。上の子ども達は成人しているので親としてはベテランのつもりがやはり足りないところがありました。
今の自分を振り返って「子どもを信じること」がなかなか出来ていないな...と思いました。つい、先に先に考えて口出しをしてしまい、子どもからも「今しようと思ったのに」と言われることが多いです。厳しくすることも愛情だと改めて思いました。時代が違うからと言うのは、私たちの都合の良い言い訳で親と子の関係に時代は関係ないと感じました。
普段、子どもと接する中で、子どもに対して口出しすることが多いのかな？と思いました。自分で出来ることは最後まで信じきってやり遂げさせてやるべきだと感じました。私自身の態度を再確認するきっかけになりました。

## 保護者事前研修会アンケート集計《設問1 - 4》

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>子どもを信じ、親が口を出し過ぎず、親が一步後ろから見守るくらいの距離で、子どもに時には厳しく、時には優しくすることも大切。</p>
<p>おの100参加者以外にも広げてもらいたい。</p>
<p>参加された保護者の方の意見も何う事ができ、自分の気付かなかった子育てへのポイントにも気付くことができました。また、前回、上の子(昨年参加)について考えましたが、今回は下の子(今年参加)について考えることができ、自分の子育ても子どもそれぞれに対して違っていたと感じました。</p>
<p>他の学校のいろんなお母さん方と話せて良かったです。3回目で毎年このセミナーで親としてもっとしっかりしなければと思うのですが。</p>
<p>近江商人の三方良し(善し)を実践する姿勢を子ども達に見せていただきたいです。本当にこのような機会を与えて頂き誠にありがとうございました。</p>
<p>昨夜、子どものことで主人と話をしました。おの100に参加する子の兄ですが、帰宅時間が守れず、約束をしてもつい遅れてしまうといった事です。主人に「お前は子どもにごちゃごちゃと言いつける。」「言うべきことだけ言って、後はドンと構えていなさい。」「あと、そろそろ帰宅時間が近づいた頃に、遊びに行っているお家に電話してあげたら？」と言われました。言いつけなしで愛が少し足りないのでは？と指摘され反省しました。今回の映画を見るのは4回目ですが、今日が一番感動しました。いつも1人自分だけが悩んでいるように思ってしまうのですが、グループディスカッションで他の保護者の方も同じように悩みながら子育てをしているのだと思い安心しました。今の私にぴったりのセミナーでした。ありがとうございました。</p>
<p>人として、親として考えさせられることができたと思う。分かっていることでも出来ていないことがあったので、今日のセミナーは良かったと思う。</p>
<p>今回で2回受講しましたが、もっと自分自身が成長しないといけないと感じます。昨年よりは少しは自分自身変わったと思いますので、もっと変わっていきたくと思っています。</p>
<p>まず、今まで生きてきた自分自身の考え方の甘さに恥ずかしくなりました。進学・友人関係・仕事への向かい方など、子どもにどう教える以前に自分の通った道の反省が多かったです。子どもに対してはできるだけ我慢することや、お金の使い方、時間の使い方など考えながら教えていたつもりでしたが、教えたからといって子どもがそれを感じているわけではないのですね。身をもって体験することを温かく見守ってやりたいと思いました。</p>
<p>普段の日常生活の中で、私たち両親に欠けていることが分かりました。映画を通して、今の時代とはかなり違いますが、子どもを思う親の気持ちは同じだと思います。我が家は2年前まで両親とも仕事の帰りが遅く、いつも放ったらかしにしてしまいました。この子は大丈夫だと思いこんでいました。ところが、仕事を辞めてからの私は異常なほどの過保護で子どもの事をダメにしていました。</p>
<p>このセミナーも7回目なのですが、毎年、柿本団長のお話、てんびんの詩のビデオを見ては反省することばかりなのですが、気付くことを多くあり、親として子どもと共に成長していければと思います。子どもを信じる気持ち、見守る気持ち、大切ですね。</p>
<p>ビデオ上映も良かったのですが、感動を増幅させるためにどんな事をするのか等、具体的な取り組みを教えてもらったり、4泊5日をもっともっと充実させるために家庭で出来ることなどを聞かせてほしかった。改めて、自分の気付きになる言葉がたくさんあったのは良かった。</p>
<p>過干渉になりすぎず見守ることに徹している母親の姿に、母親本来の優しさと強さを感じることができた。自分に置き換えてみると、過干渉で子どもの判断を待つことができない自分を再認識しました。</p>
<p>繰り返しは大事だと思います。続けることに意味がある。</p>
<p>「てんびんの詩」を観て、改めて自分の子どもを甘やかしていると思いました。親として、子どもが大きく成長していくときの「見守る」ことの大切さを心がけようと思います。つつい口を出してしまいがちなので、おの100に参加して大きく成長してほしいです。</p>
<p>ビデオを見て自分の子どもを信用し「出来る」と見守って背中を押してやることの大切さ、また、父親、母親の気持ちの強さに感動しました。まず、「出来んじやろう？」ということが先に立ってしまい、無意識に子どもの意欲を抑えていたように思います。</p>
<p>子どものやる気、子どもを信じること、また親が変わってその背中を見せられる自信をつけ、一人ではなく家族・親・兄弟・親戚・周りの人・沢山の十要素があって自分を成長させることができ、子どもにとって良い背中を見せて成長の助けになれる事が本当に大切なのだと思いました。</p>
<p>グループディスカッションが良かったです。色々な人の話を聞いた良かったです。</p>

## 保護者事前研修会アンケート集計《設問1 - 4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
自分自身を見直し、子どもに対する考え方を再認識できました。
おの100にお世話になる親(保護者)全員と一緒にセミナーを受けたということがとても大切だと思いました。親のあり方について改めて考えました。「欲」について考えました。
我が子に置き換えてビデオを観ていると、とても今の自分にあの母親のように強く導くことはできないだろうなあと。少しでも強く子どもを見守っていけるようにしたいと思いました。
4回目の受講でしたが、まだ出来ていないことが随分あるなあ~と思いました。親自身(私自身)が自信を持って生きていくことで、何を言わなくても子どもには分かるのだと思います。後は子どもを信じて、見守っていきたいと思います。
子どもと一緒に、親も3回目になると余裕が出てきます。初参加の方もいるグループ内で親自身もリーダーとなってセミナーをまとめられたらと思い参加しました。上手にまとめられたかは分かりませんが、楽しく参加させていただきました。
グループがとても少人数で話しやすく、色々な意見が聞けて良かったと思います。ビデオも沢山の愛を感じるもので、子どもにも見せたいと思いました。親離れもしなければ...と思います。色々なことを考えさせられる1日でした。
考えさせられる事が多く、少しでも出来ることをやっていこうと思いました。
子どもだけでなく親へも子どもとのかかわり方について考えさせられるこの体験を、今後少しでも多く役立てていきたいと思います。
とても良いビデオでした。なかなか現代では難しいですが...参考にしたいです。鍋蓋が売れた時の大作君の気持ち...、大作君の鍋蓋への愛着...感動しました。
親離れ、まだ出来ていなくて、もっと子どもを信じてやらなければと反省。
「てんびんの詩」を見るのは2回目ですが、とても感動し勉強になりました。母親として子どもに対する愛情の掛け方で、自分は甘すぎるし、失敗しないように口出しし過ぎているなど今回も思いました。今日のことを忘れず、子どもだけでなく私自身も成長したいと思いました。
自分の子どもに対する考えを改心させられるセミナーでした。親の強い思い(もちろん、みんな持っていますが、大作の母のような支え方もあるということを感じました。)が、子どもを縛っているんだろうということに気付かされました。
日常生活の中で、私が息子に対して過干渉であるなとつくづく感じました。先輩ママや学校での話で薄々は感じていたものの、息子の自立を私が妨げていたように思います。映画の中のお母さんのように、良い距離感をもって見守る姿勢を少しでも身につけていきたいと思います。
見守ることはすごく難しいと思いますが、大切であると思いました。今までの自分は過保護ではないと思っていましたが、本当はかなり過保護だったことに気付かされました。やってはいけない「5つの過」。私はかなりやっていました。もう一度出直したいともすごく思いました。
改めて子どもを信用し、見守ることが出来ていないことに気付きました。先々、口出しをしてしまっている事がいけないなとは思っていますが、ついつい、手や口出しているの親としてぐっと我慢するというのをこれから気を付けていこうと思いました。
今まで子どもに対して口や手を出し過ぎていたように思います。子どもへの接し方について考え直し、家族で話し合って実行していきたいと思いました。
子どもに過保護になって口を出し過ぎているので、見守る、先々に口を出さないことを務めていきたい。
毎日生活している中で過保護かな?と過干渉かな?と疑問に思うこともありましたが、その時の感情をすぐに忘れてしまっていたのですが、今回のビデオを見させて頂いて「やっぱりそうか!」と確信しました。これから気を付けて子育てしていかないといけないなと思いました。
我が家では親離れは出来ているかもしれないが、子離れの方が出来ていないのでは?と思いました。この機会に少しずつ子離れしようと思いました。
まず、子どもを信用し、見守ってやるのが今の私には必要だと思いました。とにかく、口を出し過ぎるのは、子どもを信用していないからかと改めて反省しました。おの100をきっかけにまず、子どもの意見に耳を傾け、失敗してもいいから見守ってやろうと思いました。
てんびんの詩は勉強になる。親の勉強の機会は少なく貴重。子どもにもっとチャンスを与えてあげたい。(チャンスを摘み取らないように)



## 保護者事前研修会アンケート集計《設問1 - 4》

設問1-4 (セミナーを受講されて、 何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)
2度目の参加です。親としてどうすべきか、どうあるべきか考える時間でした。昨年も同じように「親も我慢...」の必要があると感じましたが、やはり今回も同じように感じ、考えさせられました。成長してないなと思いました。子どもを信じることの大切さ。頑張りたいと思います。
子育ての大切なエッセンスが詰まったいいVTRを見せていただきありがとうございました。また、グループディスカッションでいろいろと自分とは違う考え方も知ることができ、そのことはまた自分にとって勉強になりました。
日々忙しく生活している子どもに対して、つい甘くやってあげていたことに気付きました。母親不在時にはできることも、母親がいるとしなくなる状況です。愛情を持って見守ることのできる親になりたいと思いました。
セミナーがある度に反省して、原点に返れる気がします。この感動を忘れないようにしたいと思います。
ビデオや他の保護者の方の意見を聞くことで改めて我が子との関わりを見直す機会を与えてもらいました。研修で学んだことを生活の中で活かせるように気を付けたです。
保護者の方の多くが高い意識を持っておられるので、とてもお話がしやすいと思いました。分かってはいてもつい手を出し、口を出している、出し過ぎている毎日の生活をきちんと振り返ってみたいと思いました。子どもが考える前にやってしまっているかと深く反省してしまいます。
セミナー後はいつも気持ちを入れ替え子育てに生かそうと思うのですが、なかなか難しいと感じています。子どものすばらしい変化に合わせ親も変化することがとても大事ですね。
今回で3回受講をして、自分がまだ「5つの過」をやっていた事をまた思い知らされました。でも、2年前と比べて少しずつ前よりは少なくなったと思えるので、これから中学生と難しい年代になるので親として子どもの自立を見守りたいです。
1年経った今、やっぱり忘れていた事が多かったです。ついついをやめなければダメだなあと思いました。親が変われば子どもも変わるという事を改めて想いました。子どもに口うるさく言うのを、今日からでも遅く無いので実行していこうと思いました。
子どもの自立を願い、その手助けをしたいと思う気持ちは同じだと思うのですが、それ以前の子どもに対する姿勢が違うのかなと？ベースには子ども、その子その子に対する信頼が欠かせないこと、その子を信じていれば5つの過は無くなる、減らせるかもと思いました。
鍋蓋商人を例えに挙げて子どもの成長を見せていただきましたが、現実の問題にどう取り組み、考え、行動し、乗り越えていくか、全て方程式のように思います。自分に置き換えて物事をとらえ、想像力(創造力)を日々働かせていくことが問題に取り組んでいくために不可欠ですね。
親として自分がこれから子どものために何が出来るかを考える機会を与えていただきありがとうございました。自分自身を見つめ直す有意義な時間でした。
子どもに対する親の思いが色々分かりました。こういう風に子どもの事を話したりすることが今まで無かったのでとても役に立ちました。
子どもを「信じて待つ」ことの大切さを改めて感じました。(去年も同じように思い、実践していた...つもりですが、1年ぶりに改めて考えると去年と同じように反省しています) 自分の放った「矢(子ども)」が後になって心配にならないように、しっかり正しく関わって行きたいです。(「正しく」がよく分からなくなってしまうことがあります...) 黙って待つ事が大切とは思いますが、黙って待っていて大丈夫な子に育っているかどうか...。それも不安になったりしますが、それは子どもを信じれてないということかなと思ったり...
前回の時も思いましたが、やはり子どもに対してもっと大きな心で接しないといけないなと改めて反省しました。今日の研修で感じた事をしっかりと心にしていきたいと思えます。
初めて参加し、とても良い勉強になった。なかなか自の手から離すのがとても心配だったので、なかなか離すことが出来なかったけど、今から見守ることにしたいと思う。
どんなセミナーになるのか?と最初は早く終われば良いと思っていましたが、ビデオを見て自分に当てはめて考えさせられる場面が多くあり、子供よりも自分の方が出来て無いことの多さに気付かされました。グループディスカッションでも、他の親の意見も聞け大変勉強になりました。
色んな人と意見交換できて、また、色んな事を考える事が出来て良いです。
親の姿勢の大事さを考えさせられました。見守ることの難しさ、大切さ、日頃できていないと気付かされまず。まず自分から頑張ってみようと思いました。

## 保護者事前研修会アンケート集計《設問1 - 4》

## 設問1-4

(セミナーを受講されて、  
何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

今回2度目の参加です。昨年も同じように子どもを育てる難しさを感じ、日常を反省し、自分を変えようと思ったのですが、いつまでも満足はしないものなのだと感じます。鍋蓋行商の大ちゃんのお母さんのようになりたいと昨年も思いましたが、1年で少しは変化あったかな...と振り返ると...??です。時折思い出したいと思いました。

どこの親も子どもに感じていることは一緒なのだと思います。

子どもが「しんどい、辛い、辞めたい」と訴えることを「辞めること、逃げ出すことはみやすいけど、今ここで逃げ出したのでは何も達成できないし、これから生きる中でも安易に「辞める」選択をしてしまうのではないか」と心を鬼にして、「何か感じられる、何か結果として納得できるようになるまでは続けなさい」と言って、今、家庭内でも親子が葛藤している毎日です。過干渉なのかな...?

ビデオ視聴後の皆さんの意見を聞いていると、自分は親としてまだまだ未熟だなあと感じました。

父親と母親が同じ考えの基、子どもを信頼し成長させようとする姿に感動しました。日頃、細かいことに口を出してしまう事が多いので、これからは親としての思いを筋を通し子どもの成長を見守っていけるよう努力して行きたいと思います。

色々な方の意見を聞いて学ぶ事が多かったです。

子どもに対してあまり口を出さず、子どもの行動を信じて見守って行こうと思いました。そして、何か悩んでいることがあるとアドバイスしていけるようにしていきたいです。

子どもが成長するにつれて、行動を考えることの大切さを教える難しさを感じています。子どもを尊重し接する事の大切さを考えさせられました。今回で2回目なのですが、日々子どもに言い過ぎていてと反省しました。

私は子どもの弓になっているのか不安です。しっかりとした大きな弓になれるように子どもが望む所に飛ばせてあげる様に努力していきたいです。

時代背景も違い、親の考え方にもよると思いますが、出来る限り沢山の親御さんの目・耳に触れるものであればいいと思います。私としては自分の子どもに見せたいビデオでした。

夫婦で子育て論(子どもに対する姿勢)が違う事をいつも感じています。今日のセミナーに父親と一緒に参加したかったです。子どもの成長を願う気持ちは一緒なので、二人でよく話し合っ少しづつ子離れが出来るようになりたいと思います。

親同士の交流が出来て良かった。

小さいグループに分かれてのディスカッションは共感できる内容がいっぱい悩んでいるのが自分だけではないことが分かって安心できました。「5つの過」に気を付けて接していきたいです。

いつの時代でも親が子を思う気持ちは変わらないと思いました。私は過干渉だと思うので気を付けようと思います。

日頃、いろいろと細かい所まで言い過ぎていたところをととても反省しました。一定の距離を置いて、感情的にならないようにしたいと思います。